東京海洋大学　SIPワークショップ　第１回

海洋資源開発にともなう社会経済リスク

～ノルウェーとスコットランドの経験を日本にいかに適用するか～

日時：2016年３月３日（木）13:30-17:30　[開場 13:30]

会場：東京海洋大学品川キャンパス 楽水会館１階大会議室

参加：無料（逐次通訳（英語⇔日本語）つき）

定員：環境影響評価の実務に就いている方 30名★

★参加ご希望の方は2月19日までにメールでお申し込みください。
メール送り先：kawabe*kaiyodai.ac.jp (*を@にして下さい)　件名：SIP WS
恐れ入りますが、お申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

主催：SIP東京海洋大学チーム

海洋資源開発の希求と共に、開発が地域・社会におよぼす影響に対する懸念もまた高まっています。そこで本ワークショップでは、海洋開発にともない、どのような社会経済リスクが存在し、それらをどう評価するかについて、ノルウェーとスコットランドの研究者の経験を聴き、さらに日本にどう活かすことができるのかを話し合います。

スケジュール　　進行：　川辺みどり　東京海洋大学 教授

13:30-14:00	ご挨拶	河野 博　東京海洋大学 教授
14:00-14:45	スコットランドの経験	レズリー・メイボン 博士
14:45-15:15	テーブルで語ろう＋質疑応答	
15:15-15:30	休憩	
15:30-16:15	ノルウェーの経験	シャスティ・ブッシュ 博士
16:15-16:45	テーブルで語ろう＋質疑応答	
16:45-17:30	総合討論	
17:30	総括	

講演者のプロフィール

◆ レズリー・メイボン 博士　Leslie James Mabon, Ph. D
ロバートゴードン大学（スコットランド）講師；専門は環境社会学
環境ガバナンスにおける政策決定プロセス、特に、多様な立場の人々の価値観を反映させた環境保護政策、合意形成に至るプロセスの研究を専門とする。

◆ シャスティ・ブッシュ 博士 Kjersti Eline Busch, Ph. D
環境コンサルタント会社 SALT（ノルウェー）事業部長
油田開発計画が進むノルウェーのロフォーテン地方における沿岸地域社会の持続可能な発展・価値創造に取り組み、合意形成プロセスのための情報供給やアウトリーチ活動を行っている。

★本ワークショップは、平成27年度 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）／「次世代海洋資源調査技術」採択事業の一環として行います。